

# 宮城県

定 数： 4 名

立候補者数： 4 名



氏名 村上 賢一

氏名ふりがな むらかみ けんいち

都道府県士会 宮城県

年齢 47

勤務先名称 東北文化学園大学医療福祉学部

### 日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会代議員 2018～  
一億円プロジェクト運営部会部員 2019～2024  
登録理学療法士検討部会部会長 2025～  
生涯学習制度検討部会部員 2026～

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

宮城県理学療法士会理事 2012～  
宮城県理学療法士会生涯学習担当者 2017～  
宮城県理学療法士会理事・副会長 2018～

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

第14回日本神経理学療法学術大会学術集会準備委員長 2014～2016  
第39回東北理学療法学術大会準備委員長 2018～2022  
日本神経理学療法学会 評議員 2022～  
学会連合 理学療法にかかわる研究助成の審査 2024～

### 立候補の趣旨

2018年度から日本理学療法士協会の代議員・宮城県理学療法士会の副会長として活動をさせていただきました。そのほか、日本理学療法士協会の委員会活動や宮城県理学療法士会の生涯学習担当者としての活動をし、他方面から多くの情報が入ってきています。私の役割としては、協会と士会の橋渡しをし、特に県士会員へ情報を還元することと考えており、代議員総会や組織運営協議会（拡大）にて、積極的に情報交換を進めます。引き続き、代議員として活動させていただきたく立候補いたします。



氏名 鈴木 博人  
 氏名ふりがな すずき ひろと  
 都道府県士会 宮城県  
 年齢 38  
 勤務先名称 東北文化学園大学医療福祉学部

### 日本理学療法協会活動歴

令和4－6年度：U30・40ネットワーク検討部会・部員  
 令和7年度－：U40 Future Network部会・部員（継続中）

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和2－4年度：宮城県理学療法士会・E-nudge委員会・委員長  
 令和2年度－：宮城県理学療法士会・理事（現在2期目：学術局長：継続中）  
 令和5－6年度：第28回宮城県理学療法学会大会・大会長・・・他

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和1－2年度：第25回日本基礎理学療法学会学術大会・準備委員長  
 令和4－5年度：第7回若手研究者ネットワークシンポジウム・代表  
 令和4年度－：日本産業理学療法研究会・評議員（継続中）  
 令和5年度－：（一社）日本基礎理学療法学会・評議員（継続中）  
 令和7年度－：（一社）日本理学療法教育学会・評議員（継続中）・・・他

### 立候補の趣旨

近年、社会環境の不確実性や変化の速さは一層増しており、理学療法士を取り巻く環境も、資格取得者数の増加、就業分野の多様化、価値観やキャリア志向の変化などにより、大きく様変わりしています。その結果、会員のニーズはこれまで以上に多様かつ流動的になっています。

一方で、本会は会員数の減少という課題に直面し、年会費や制度設計に関する議論が続いています。若い世代が費用対効果を重視する背景には、単なる負担感ではなく、「協会に所属することで何が得られるのか」「成長や社会貢献につながっているのか」が十分に伝わっているかという本質的な問題があると考えます。

生涯学習システムは専門性と質を担保する中核的基盤ですが、活用のされ方や情報の届き方、現場感覚との乖離など、運用面での改善余地も少なくありません。制度を否定するのではなく、現場の声を踏まえた改善と実感を伴う活用促進が重要です。

また、若手会員の意欲を協会活動につなげ、主体的に参画できる仕組みづくりは、組織全体の活性化に不可欠です。代議員として、若手の声を協会に届け、生涯学習制度の改善に関わり、協会と都道府県士会が実質的につながる関係づくりに貢献したいと考え、立候補いたしました。



氏名 阿部 功  
氏名ふりがな あべ こう  
都道府県士会 宮城県  
年齢 44  
勤務先名称 総合南東北病院

#### 日本理学療法協会活動歴

2020年～ 日本理学療法士協会 代議員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2012年～ 一般社団法人宮城県理学療法士会 理事  
2021年～ 一般社団法人宮城県理学療法士会 副会長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

宮城県理学療法士会において、社会局とブロック局を担当する副会長を務めております。病院で入院患者に対する理学療法業務、そして地域住民に関わる仕事を日々行う中で、理学療法をより多くの方に、より良い形で届けたいという想いを強く抱いています。それを実現するためには、県士会・協会の活動を通して理学療法士の社会的地位を担保すること、そして目の前の患者さんを「治し・支える」ことに加えて、地域づくりへ貢献することが必要不可欠です。  
代議員として、宮城県の理学療法士、そして理学療法士が関わる患者・地域住民の声を協会の運営にしっかりと届け、理学療法士が国民から頼りにされる職業であり続けるために活動して参ります。



氏名 三田村 徳  
氏名ふりがな みたむら あきら  
都道府県士会 宮城県  
年齢 38  
勤務先名称 東北医科薬科大学病院

### 日本理学療法協会活動歴

2021年度 : 国際情報SNS特派員  
2022年度～ : 他国協会との関係醸成作業部会部員 (継続中)

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

2020年度～ : 宮城県理学療法士会・E-nudge委員 (継続中)  
2021年度～ : 宮城県理学療法士会・国際交流・支援等委員長 (継続中)  
2023年度～ : 宮城県理学療法士会・理事 (継続中)

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は、現場で働く理学療法士一人ひとりの声を協会運営に反映し、理学療法士会を「より身近で、参加する価値を実感できる組織」にしていきたいと考え、代議員に立候補しました。

臨床・教育・地域など現場の多様化が進む中で、制度や事業が十分に伝わらず、活用されにくい状況も少なくありません。地域・若手・国際という三つの視点を大切に、協会と士会の橋渡し役として、情報を分かりやすく整理し、現場へ丁寧に還元していきます。

特に若手理学療法士が「意見を出せる」「関われる」「成長につながる」と実感できる仕組みづくりに力を入れたいと考えています。また、生涯学習制度についても、現場の声を汲み取りながら、地域や職域、規模による偏りが生じないように配慮し、新たな活用や改善に関わっていきます。

会員一人ひとりの成長が社会貢献につながるよう、制度と現場、そして国際的な視点をつなぐ調整役として、全国の理学療法士にとって公平で実効性のある協会と士会づくりに貢献していきたいと考えています。